

報道関係者各位

株式会社博展
2019年10月9日

博展が手掛けた庭園 [光と霧のデジタルアート庭園]が 2019年度グッドデザイン賞を受賞！

イベントや展示会を中心に企業・団体の体験型マーケティング活動を支援する株式会社博展（本社：東京都中央区、代表取締役社長：田口徳久、以下「当社」）が手掛けた庭園 [光と霧のデジタルアート庭園]が、2019年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞いたしました。当社としては、同賞は2年連続2回目の受賞となります。

当社は今後も顧客企業のマーケティング活動に寄与する優れたコミュニケーションデザインの提案力を磨くべく、クリエイティブの強化に努めてまいります。

HAKUTEN CREATIVE サイト：<https://www.hakuten.co.jp/content/creative/index.html>

<GOOD DESIGN AWARD|グッドデザイン賞>

- 受賞対象名：庭園 [光と霧のデジタルアート庭園]



グッドデザイン賞の該当ページ：

<https://www.g-mark.org/award/describe/49607?token=MJkcgBFDJK>

●概要

「暑さ厳しい真夏に涼やかさを堪能する」ということを、日本人の感性が育んだ伝統的手法のオマージュにより、現代的なアート体験として再構築することに挑んだ。

事業主体名	東京ミッドタウン
分類	公共の建築・空間
受賞企業	株式会社博展、WOW inc.、Tokyo Lighting Design 合同会社
プロデューサー	株式会社博展（齋藤祐太）、WOW inc.（佐伯真一）
クリエイティブディレクター	株式会社博展（桑名功）、WOW inc.（於保浩介）
プランナー	株式会社博展（真崎大輔）
ディレクター	WOW inc.（近藤樹）
デザイナー	株式会社博展（青柳龍佳） Tokyo Lighting Design 合同会社（矢野大輔、饗庭暉人） サウンドデザイナー（畑中正人）

●受賞対象の背景

“日本の夏の涼”というテーマ 東京の真ん中、多種多様な人々が溢れ、常に賑わいがやまない六本木という街において、新たな夏の楽しみ方の提案が求められた。私達は、夏の暑さをも風情として楽しもうとする、日本人が本来持つ豊かな感性からアプローチした。庭に面した縁側（エンガワ）に座り、虫の声を聞き、花火を愛でて、親しき人と夏の夜を楽しむ。そんな感性豊かな日本の夏の原風景を現代的に再構築し、新たな夏の風景をつくりだすことへのチャレンジである。

●審査委員の評価

六本木という都会のど真ん中で、縁側に座り、水を打ち、花火を見上げ、涼やかさを楽しむという日本古来の伝統手法のオマージュをテクノロジーの力で生み出し、老若男女が集うことのできる、全く新しい空間を創造した。足をだらんとおろして座る、という行動をデザインすることで、より深く体験に没入できる。

▼「グッドデザイン賞」(<http://www.g-mark.org/>) について

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

▼株式会社博展 (<https://www.hakuten.co.jp/>) について

「Communication Design®」の提供を通じて、人と人が出会う“場”と、そこで生みだされる感動や経験の“体験”をより価値あるものにするために、企業のマーケティング活動に感動や経験という体験価値を提供するパートナーとして、「Experience Marketing」を事業領域とした、コンタクトポイントにおけるコミュニケーション開発及び統合型マーケティングソリューションの提供を行っております。

以 上

▼ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社博展 経営企画部 村松（むらまつ）
Tel : 03-6278-0070 Fax : 03-6278-0092 E-Mail : ir@hakuten.co.jp